



■設置場所・島レイアウトも自由自在 (導入イメージ)



導入イメージ①

従来の島設備では設置の難しい柱を挟む壁面のようなデッドスペースも、スマート遊技機の単独配置が可能な「セルフリムーヴ」なら、スペースを余すことなく有効活用できる。



導入イメージ②

休憩室内に限られたスペースにも、スマート遊技機の設置が可能となる「セルフリムーヴ」。例えば、休憩室内のスマート遊技機を禁煙コーナーとすることで、他の遊技機コーナー全てを加熱式タバコ専用コーナーとして営業することも可能だ。

「集客面では、近隣店の仕掛けもあり、一進二退の状況が続いています。今後、スマート遊技機の充実化を進める中で、島を「セルフリムーヴ」に刷新していくことも選択肢にあります」と話す田口営業部長。機動性の高い集客策を行う上で、「セルフリムーヴ」に掛かる期待も大きい。

「以前からパチスロを強化しており、その二環で今回、さらにパチスロを増台しました。私自身、パチスロで自店の集客を強化していきたいという思いが強いですが、その一方で、またパチンコが良い時代が来るかもしれません。その点を考慮し、「セルフリムーヴ」のスマス

導入後、約2カ月が経過しましたが、特にトラブルもなく、製品に関する不満点は見当たらないと田口営業部長は評価する。

「まだ実施はしていませんが、例えばスマスロとスマパチを交

互に設置するという独自のレイアウトも、切り替えが簡単な「セルフリムーヴ」だと、気軽に試すことができます。小さなお店生き残る上で、遊技機の柔軟な運用ができるという点は大きなポイントではないでしょうか。」

「セルフリムーヴ」は、島レイアウトも単独配置や、連結して直線島やR島、円形島に

遊技機の柔軟な運用にも幅広く対応

また既設の島に比べ、島の外枠がスマートな設計であることから、デザイン的にスタイリッシュ、かつ通路幅を広く設けることができたという。

互に設置するという独自のレイアウトも、切り替えが簡単な「セルフリムーヴ」だと、気軽に試すことができます。小さなお店生き残る上で、遊技機の柔軟な運用ができるという点は大きなポイントではないでしょうか。」



岐阜県高山市にある「ニュー文化」。幅広い年齢層から支持を集める老舗店だ。



店舗内の中央に、スマート遊技機専用島「セルフリムーヴ」を導入。今はスマスロを設置しているが、状況に合わせていつでもスマパチへの切り替えが、自社スタッフで簡単に行える。

未来志向のホール必見! 「セルフリムーヴ」による遊技機運用の最適化
スマパチ⇄スマスロ切替、スタッフで完結
 変化の激しい遊技機市場に対応するため、岐阜県の《ニュー文化》がスマート遊技機専用島「セルフリムーヴ」を先行導入。遊技機の切り替えが驚くほど簡単なこの施策は、業界の次なるスタンダードとなるのか?

パチンコとパチスロは、シーソーの関係に例えられることが多い。片方が良ければ、もう片方が低調に推移する。過去を振り返ると否めない事実であるが、その関係が今後も続くとは限らない。また、この関係が続くにせよ今後、どちらの遊技機の人気が高まるかも、正確に見通す術がないのが現実である。状況に応じて如何に柔軟に対応できるかが肝要だ。特にスマート遊技機時代を迎え、遊技機の運用方法の幅が広がった。それ以前の遊技機では不可能な島レイアウトなども実現できる。幅の広がった選択肢のなか、いかに最適化を図れるか、現在、ホール関係者の多くが悩む所である。

そんななか、全国のホールに先駆け、(株)ニューギン・アドバンスのスマート遊技機専用島「セルフリムーヴ」(特許出願中)を導入したのが岐阜県高山市にあるパチンコホール《ニュー文化》(経営:古川観光株式会社)だ。「セルフリムーヴ」は次ページ上部に掲載した通り、スマパチ⇄スマスロの切り替え作業が、「H(はずして)」「M(まわして)」「K(くるりんぱ)」の3ステップのみで行える点が最大の特長となる。具体的には、木枠を留めている4本のビスを外し、取り

外した木枠を上下・左右に反転。その後、木枠を再び取り付け、ビス留めするだけで切り替え完了だ。自社スタッフでも簡単に作業できるため、切り替え時のコストを大幅に削減できる点が嬉しい。《ニュー文化》が同製品を導入したのが今年8月3日。それまでパチンコ島だった店内中央の片島15台を解体し、「セル



島自体、スマートな設計となっており、以前に比べ、通路幅も広がったという。

DATA

株式会社ニューギン・アドバンス



●電話 03-5818-2571
 ●所在地 東京都台東区東上野3-15-1
 ●WEB www.newgin.co.jp/advance/